

団体名

渡嘉敷村立渡嘉敷幼稚園

連絡先 TEL：098-987-2538

Eメール：tokayou@oki-tokashiki.jp

1 実践事項 特色ある取組

- (1) 地域の方との関わり、稲作活動を通じた取組
- (2) 戸外活動を通して、自然体験の充実を図る取組

タイトル：「 幼児の好奇心を育て、主体性を育む取組 」

2 実践内容

- (1) 地域の方との関わり、稲作活動を通じた取組
 - ・ 地域の方の田んぼを借り、その方の指導のもと、稲の苗を育てることから収穫までの作業を行い、収穫したお米を給食に出してもらい食する。そして、最後に、しめ縄作りまでを行うことで、地域の方との関わりや稲作活動を通じた体験活動の充実を図る。
- (2) 戸外活動を通して、自然体験の充実を図る取組
 - ・ 戸外活動や散歩等を通して、幼児が島の自然に興味をもてるようにする。
 - ・ 戸外で捕まえた生き物などを観察したり、図鑑での調べ学習を通して生き物への興味関心を図る。

3 説明資料



田植えをする



稲刈りを行う



海に散歩に行く



虫とりを楽しむ

4 成果

- (1) ・ 田植えを自分たちで行ったことで「自分たちの田んぼ」という思いが芽生えた子もいて稲の生長を楽しみに観察していた。また、脱穀したお米を給食に出してもらったことで「ご飯が美味しい。残さず食べる。」等の感想を聞くことができ、食育にもつながった。
- (2) ・ 海や山に出かけ、自然の中で過ごすことで生き物や草花に関心をもつ子が多く、捕まえてきた生き物の名前を図鑑等で調べたり、草花を遊びや工作に使う子が多く見られた。
 - ・ 今年度、軽石が渡嘉敷島にも流れてきた。いつも見慣れているきれいな海が汚れてしまい、子供達が海の生き物のことを心配していたので、各クラスで自然の大切さについて話し合いを行った。子供達から、たくさんの思いや考えを聞くことができた。

5 課題

- (1) 田んぼまでの距離が長く、頻繁に稲の生長を観察することができなかつたので「稲の観察年間計画」を作成したり、田んぼの指導をしてくれた地域の方を園内に招いて、ゆっくり話を聞く機会を設けることの必要性を感じた。
- (2) 自然体験の充実を図るためには、戸外活動だけではなく、園庭にもっと草花を植えたりするなど、園内の自然環境を整える必要がある。

